2014 年 GNC モンゴルエコツアー（9 月 3 日～9 月 10 日）報告

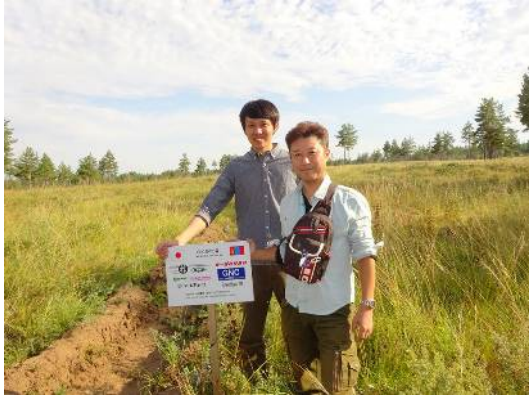
1　セレンゲ県　植林地視察

【日時】
2014 年 9 月 4 日 14：00～19：30
【場所】
セレンゲ県トジンナルス他（植林地：2004 年秋万博→2014 年春→2007 年春→2004 年春）
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子、小川幸造
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
株式会社　KSG インターナショナル　大野慎一、榎本伸夫
株式会社　JA 東京中央セレモニーセンター　島田博司
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

１）森づくり
・2004 年秋万博、2014 年春、2007 年春、2004 年春の植林地視察
　4 日 14 時過ぎに 2004 年秋万博植林地（2005 年愛・地球博のプレイベントの際の植林地）の前で、元・森林・動物センター長の**ジャムスランさん**、植林担当者の**トメンナサンさん**と会う。2 人の案内でまずは万博植林地を見て回る。家畜の被害を受けやすい場所だが、2004 年に植えたもの、2009 年に植えたものでかなり育っているものもあった。その後、2014 年（16 時～　KSG のお二人、島田さんはそれぞれの看板の前で撮影）、2007 年（16 時 45 分～、この後僕らが乗っていた車のタイヤがパンクして取り替えるのに時間がかかった）、2004 年（18 時半～　）の植林地を順番にまわった。セレンゲ県における最初の植林地（トジンナルス・2004 年春植林）では、アカマツの活着率は良く、成長も順調で 4 メートル以上に育ち森を形成していた。それを今回はじめて見た KSG のお二人、島田さん、小川さん、ガイドさん、トゥギーさんが「感動した」を連発していたのが印象的だった。2014 年、2007 年の植林地を見た後だと、その成長具合がより一層際立つのかもしれない。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

2004 年秋の植林地（2005 年愛・地球博のプレイベントの際の植林地）



2014 年春の植林地

2007 年春の植林地

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

2004 年春の植林地（セレンゲ県で初）

２　セレンゲ県　第 7 幼稚園　絵本・パズル贈呈＆記念植樹

【日時】
2014 年 9 月 5 日 9：30～11：00
【場所】
セレンゲ県スフバートル市
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子、小川幸造
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
株式会社　KSG インターナショナル　大野慎一、榎本伸夫
株式会社　JA 東京中央セレモニーセンター　島田博司
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）
青年海外協力隊　森勝也

1）人づくり
　9 時半に第 7 幼稚園に到着。昨年に続き 2 度目の訪問。相変わらず園内が花であふれている。すぐに「アカマツの赤ちゃんの夢」をテーマにしたお遊戯を昨年に引き続き 5 歳の園児たちが見せてくれた。園児の可愛さと健気さにスタッフ、訪問者一同感動。その後、3 歳児、4 歳児のいるゲルを訪ねたらちょうど朝食タイム。僕らの訪問に驚き笑顔で手を振る子もいれば、急に泣き出す子もいた。ものすごくかわいい。大野さんは 9 歳のお子さんがいるし、島田さんは 10 歳のお子さんがいる。お二人とも父親の顔になっていた。その後、5 歳児の朝食タイムにお邪魔する。そして、絵本やパズルを寄贈する。園児代表数人に手渡

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

しし、一緒に写真を撮る。その後、10 時 15 分くらいに僕らのために食事会を開いてくれた。おいしい羊肉のボーズ。臭みが無くて本当においしかった。あとは自家製ピクルスもレーズン茶もスーテーツァイも絶品。あまりに誉めたら、ピクルスを 1 ビンプレゼントしてくれた。催促したみたいで気恥ずかしかったが本音はとても嬉しかった。10 時半から園内の庭で、園児、GNC のスタッフ、ツアー参加メンバーみんなで協力して 10 本記念植樹。

第 7 幼稚園は、3、4、5 歳の児童が 150 人在籍しており、6 クラスを 6 人の先生が担当している。園内の緑化、花育て、絵本作成、絵本を使ったお遊戯などのレベルが高くモンゴル全体の中で 1 位の幼稚園として表彰されている。これからも毎年訪問することを約束して 11 時に幼稚園を後にする。

絵本「アカマツの赤ちゃんの夢」

園児たちのお遊戯発表会

全員で記念撮影

絵本・パズルの贈呈

記念植樹

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

３　ダルハン市　アルタンツェツェグさんとの会合＆苗畑視察

【日時】

2014 年 9 月 5 日 13：00～15：00

【場所】

オルホン県ダルハン市

【スタッフ】

GNC Japan　代表　宮木いっぺい

GNC Japan　事務局　矢野明子

GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン

アルタンツェツェグさんと契約書サイン

ご自宅の苗畑

１）森づくり

13 時過ぎにダルハンのレストランにみんなで入る。昼食。そこに苗木会社ボゴント・ノミン有限会社の社長の**アルタンツェツェグさん**が合流。ツォゴさんが通訳して、宮木代表、矢野さんの 2 人が彼女と契約作業をする。アルタンツェツェグさんは、34 年間で 9200 万本、政府が認めているのが 4000 万本を植林用に提供してきた。1950 年に中央県で生まれた。父親は研究者。高校はセレンゲ県。海外留学経験はドイツ。もともとは政府の森林の専門家。その後、独立して会社を作った。モンゴルでは民主化してから、自然を大切にする気持ちが少なくなったと彼女は言う。14 時半に店を出る。アルタンツェツェグさんの自宅に立ち寄る。ご主人もいた。苗木畑を見せてもらう。ここの苗木は再来年の GNC の植林に使われることになる。とてもいいご夫婦なので苗木を購入するだけでなく植林もお願いしたほうが良いのではと思う。15 時にはお別れする。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

４　ジャルガラント　新たな植林地視察

【日時】
2014 年 9 月 5 日 18：00～19：30（2014 年春）
【場所】
ジャルガラント
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子、小川幸造
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
株式会社　KSG インターナショナル　大野慎一、榎本伸夫
株式会社　JA 東京中央セレモニーセンター　島田博司
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

ジャルガラントの新植林地

2014 年に植えた苗木

18 時にジャルガラントに到着。遊牧民のゲルの近くで車をとめる。周辺は典型的なモンゴルの草原風景で森も近くにあり景観が良い。そこでツアー参加メンバーは馬に乗る。ゲルに招じ入れられ歓待。そして、近くの新植林地を視察する。2014 年春、1,4 ヘクタールに 2800 本のアカマツを植えた。初めての植林地だが、苗木はしっかり活着していて一安心した。厳重に周囲をネットで囲み、家畜の被害を食い止めている。現に、何頭もの牛がネットのそばをうろつきさかんに草を食んでいた。もしネットが無かったら 1 本も生き残っていなかっただろう。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

５　バヤンチャンドマン村　GNC 苗畑視察

【日時】
2014 年 9 月 6 日 9：00～9：30
【場所】
トゥブ県バヤンチャンドマン村
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子、小川幸造
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
株式会社　KSG インターナショナル　大野慎一、榎本伸夫
株式会社　JA 東京中央セレモニーセンター　島田博司
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

１）苗畑づくり
　GNC　Mongolia の苗畑を視察する。昨年からアカマツの苗木も育てはじめており、今のところ順調に成長している。近い将来宿泊施設になる建物も見学。住み込んでいる家族の家も訪ねる。明るいご夫婦と元気な 3 人のお子さん。

バヤンチャンドマン村苗畑

アカマツの苗畑

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

６　ウランバートル市　青少年育成特別教育センター視察

【日時】
2014 年 9 月 6 日 15：30～17：15
【場所】
ウランバートル市
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　小川幸造
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

１）人づくり

15 時半に孤児施設（ウランバートル市青少年育成特別教育センター）に到着。土曜日なので、校長はいなかったが事務局長の**ボヤントグトフさん**が案内・説明してくれた。ドイツのベルリンに留学していた方でドイツ語をはしばしに使うダンディな人。18 歳未満の孤児を育てる学校と、18 歳以上の孤児に職業訓練を施す学校と並んで建っている。18 歳以上の職業訓練のための様々な施設を見せてもらった。またスライドショーによる説明も聴くことが出来た。今後は、GNC としては、施設整備を支援したり、実習教育の場を提供してゆく予定である。17 時 15 分にそこを後にする。

建物外観

職業訓練設備とボヤントグトフ氏

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

7　トーラ村　フェアトレードプロジェクト

【日時】
2013 年 9 月 7 日 10：00～14：10
【場所】
ウランバートル市ハンオール地区トーラ村
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
ドランジャヴさん（ドヤさん・女性）
バダムハンドゥさん（もと整備士・女性）

9 時 45 分には GNC モデル農場を出発。ツォゴさんの車に乗ってトーラ村の**バダムハンドゥさん**の家へ。10 時到着。相変わらずとてつもなくテンションが高く明るく元気。**ドヤさん**もデールを着ておしゃれをしてもう既に到着していた。「フェアトレードプロジェクト」の一つとして、荻原さんが帽子作りの実習講座を開いた。型紙からはじめ最後はミシンで縫って帽子を作る。帽子と花飾り両方で 3000 トゥグルグ。はじめは慣れない手つきでうまくいかなかったが、途中からドヤさんはすっかりもともとの裁縫の実力を発揮して見事にミシンを操って帽子を作ってゆく。その後、バダムハンドゥさんが作ってくれたものすごくおいしい野菜スープ、いろいろな種類の野菜の入ったサラダ、白いご飯をごちそうになる。どれも絶品、おいしかった。ついたくさん食べてしまった。腹にも優しく体にいいものばかり。その後、みんなで昨年に引き続き歌合戦。この日に備えて日本のメンバーは歌詞カードを用意していた。14 時 10 分にお別れ。このプロジェクトを通して、単に村民の収入がアップするだけでなく、村民同士のネットワークが強まることが期待できる。

作業前のひと時

作業開始

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

ミシンかけ

帽子完成

８　モンゴル国立大学エコロジー教育センター会合

【日時】
2014 年 9 月 8 日 10：00～10：40
【場所】
ウランバートル市　モンゴル国立大学エコロジー教育センター
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）
一橋大学大学院修士 2 年　サラ（女性・モンゴル人在日留学生）
NCF（自然環境省自然保護基金）　チョルンフー（女性）

8 時にＧＮＣ教育センター（農場）を出発。大渋滞に巻き込まれツォゴさんが工夫に工夫を重ね、何とか 10 時にエコロジー教育センターに到着。途中、トゥギーさんをピックアップする。センターで一橋大学大学院修士 2 年のサラさん（2 年前に GNC エコツアーに参加）と NCF のチョルンフー（女性）さんが待っていた。（チョルンフーさんはエコ教室を全て見学。）センター長、バトツェツェグさん（女性）は 10 時には次の用事があって出かけなければならなかったはずだが、予定を変更して待っていてくれた。

2005 年に GNC Japan とモンゴル国立大学エコロジー教育センターが共同でオープンしたエコ植物園は、就任したばかりの新センター長バトツェツェグさんの下、市の予算を使って、さらに充実した公園として整備されていた。具体的には環境教育用の各種の体験コーナーが整備され、生徒たちが楽しそうに遊びながら環境について学んでいた。また園内の

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

植物の説明パネルも昨年以上に整備されていた。なお公園内散策路沿いの植え込み用に GNC が提供したニレの苗木もしっかりと活着していた。昨年受けた「東京都内の標準的な植物園と同じ水準に近付きつつある」という印象はより一層強くなった。

バトツェツェグさんは学生時代**バザルドルジ先生**の教え子で、94 年ごろ東大に留学した経験もある。センター長就任にあたって、ここ 10 年の GNC の活動報告もしっかりまとめてくれていて、GNC との関係性をきちんと理解してくれていた。（なお、GNC はこれまでに総計 3000 万 TG の支援をしているということがわかった。）これまでの功績を称えてゴールドのパネルのはまった立派な感謝状をいただいた。ミーティングでは、今後の具体的な協力関係について話し合った。１）エコ教室の継続、２）GNC の現場を使った実習型プログラムの提案などである。10 時 40 分に会合は終了し、すぐにエコ教室会場に移動した。

バトツェツェグさんから感謝状

記念撮影

９　第 11 回エコ教室の実施

【日時】

2014 年 9 月 8 日 10：40～13：00

【場所】

ウランバートル市　モンゴル国立大学エコロジー教育センター

【スタッフ】

GNC Japan　代表　宮木いっぺい

GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里

GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子

GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン

【参加者】

金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

一橋大学大学院修士 2 年　サラ（女性・モンゴル人在日留学生）

NCF（自然環境省自然保護基金）　チョルンフー（女性）

エコロジー教育センター、18 学校、23 学校、108 学校（14 歳～16 歳、各校約 15 名）

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１）人づくり

10 時 40 分過ぎに会場となる大教室に入る。既に 60 人弱の各校の生徒がいくつかのテーブルに分かれて待っていた。23 学校（先生も同席。）、108 学校、18 学校（先生も同席。**ヒシクマさん。**女性。）、エコロジー教育センター（先生も同席。**オーグナーさん。**男性。ドイツ留学体験あり）の 14 歳～16 歳の生徒。最初、宮木代表が挨拶し、順番に GNC のスタッフの自己紹介。その後 11 時から、小川安里さんがパワポを使って GNC の紹介。11 時 20 分にはワークショップを開始する。5 つのテーブルに分かれて（108 学校、23 学校、エコロジー、18 学校 2 チーム）水質検査キットを使ってそれぞれに与えられた川の水や水道水などの汚さや硬度などを調べる。調べ終わったら結果を模造紙に書き込む。エコロジー教育センターの付属学校の OG であるサラさん（現在、一橋大学大学院修士 2 年）、金沢大学 3 年のトゥギーさんが、小川安里さんをサポートして各テーブルを回って生徒たちを指導し大車輪の活躍だった。それらの作業を終え、12 時 20 分から順番に結果発表をした後、小川安里さんが日本の事情を紹介した。最後にモンゴルのこれからのあり方について活発な意見発表が行われ 12 時 50 分に終了した。その後、ジュースとお菓子と絵本「アカマツの赤ちゃん」を全員に配る。そして 13 時にはみんな外に出て、植物園の体験コーナーや説明コーナー4 か所を各校のチーム単位でまわる。大いに楽しんでいた。14 時に生徒たちとの集合写真、エコロジー教育センターのスタッフとの写真をとって解散した。

ワークショップを中心に置いた今回のエコ教室は大いに盛り上がった。2 年前もワークショップを中心に置いたエコ教室を実施したが、その時も生徒たちの自由な意見を多数聴くことが出来た。やはり講義スタイルではなくワークショップスタイルが今後のエコ教室の基本になるだろう。今回は、最初に検査方法を全体にわかりやすく説明する、発表の仕方をフォーマットを作って示す、結果をもう少しビジュアル面でわかりやすく示せるよう指導しておくなど、いくつか改善点もあったが、何より生徒たちが楽しんでいたのが良かった。大成功と言えるだろう。これからやり方を改善すればより一層スムーズに進行することが出来るだろう。

最初の挨拶とスタッフ紹介

卒業生のサラさん

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

小川安里さんの講義

熱心に聞き入る生徒たち

テーブルごとに作業

テーブルごとに作業

各校ごとに結果発表

各校ごとに結果発表

体験コーナーで遊ぶ生徒たち

全員ではないですが・笑

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１０　ウランバートル市　第 42 幼稚園会合＆絵本・パズル贈呈

【日時】
2014 年 9 月 8 日 16：00～17：00
【場所】
ウランバートル市　第 42 幼稚園
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

1）人づくり
　第 42 幼稚園を訪問する。昨年同様、園長は**オトゴンジャルガルさん**（女性）。かつて板橋で研修し吉田広子さん（板橋モンゴル孤児支援の会　代表、しばしば GNC の活動をサポートしてくださっている）と一緒に仕事をしたことがあるとのこと。まずはミーティングを行う。GNC オリジナル絵本「アカマツの赤ちゃんの夢」にもとづいたお遊戯等の発表会を昨年度の会合の後に実際に実施してくれていた。その画像を見せてもらう。衣装など、親も全面協力して作り上げたとのこと。また、これも昨年の会合で提案されたジャガイモ掘り体験についても具体的に話しが進んでおり、この週末に GNC のモデル農場でツォゴさん指導のもと実際に実施することになる。第 42 幼稚園の実行力は素晴らしい。それと、今後幼稚園の周囲を現在の鉄製の柵ではなく全て木で囲みたいとの要望もいただいた。その木の苗木を提供し、植える際の技術指導を GNC がすることになる。ただし苗木代は園児の親たちの負担で、親・子供・幼稚園一体となっていい幼稚園をつくりあげていこうという園長の強い想いが感じられた。その後 16 時 50 分に園児のいる部屋を訪問し、絵本とジグソーパズルを寄贈した。園児はすぐに夢中になって絵本を読みだしたり、ジグソーパズルをはじめたり大騒ぎ。その姿をみて、スタッフ、参加者一同また笑顔であふれた。17 時に幼稚園を後にする。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

第 42 幼稚園

今後についてミーティング

園長室にて

絵本・パズルの贈呈

園児たちと

絵本やパズルに夢中

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１１　第 18 学校訪問

【日時】
2014 年 9 月 8 日 17：30～17：50
【場所】
ウランバートル市　第 18 学校
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

17 時半に 18 学校に到着したが、残念ながら**プレブジャルガル校長**（女性）には会えなかった。校内の植樹した場所を撮影して帰る。

今後、第 18 学校の日本語教師、とりわけ**エルデネソウダ先生**は現在宇都宮大学に留学しているので彼女と密に連絡を取り合いながら日本での実習プログラムを実現させてゆく予定である。

橋幸男さんと植えたポプラ

最初に植えた記念すべきポプラ

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１２　ウランチュルートゴミ処分場、分別処理工場見学

【日時】
2014 年 9 月 9 日 9：15～11：15
【場所】
ウランバートル市ウランチュルート
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）
NCF（自然環境省自然保護基金）　チョルンフー（女性）

8 時に GNC 教育センター（農場）を出発。9 時 10 分過ぎにウランチュルートゴミ処分場に到着する。ここは昨年、青年海外協力隊員（当時）の木下さんの案内で、ウランバートル市内に 3 か所あるゴミ処分場の 1 つとして視察したところである。昨年に引き続き視察した。郊外の丘の間の谷をごみで埋め立ててゆき、パワーショベルやブルドーザーなどの重機によって土をかぶせる。リサイクルできるものは許可された者が持ってゆく。しかし無断で持ってゆくものも多く、規制もできないとのこと。現在ウランバートルには同様の施設があわせて 3 か所ある。清掃業者に市が委託してゴミ収集をしている。住民がゴミを出す段階では分別していないが、収集段階やゴミ処分場で分別される。ここは 2020 年まで使い、その後は、上に土をかぶせポプラなどを植林する予定とのことだった。現在予定より人口増加、ゴミ増加の伸び率が大きく問題となっているとのことである。

今回は、**ガンバートさん**という処分場のトップの方と話すことが出来た。NCF の**チョルンフーさん**（女性）も合流し会合に参加した。。ガンバートさんは赴任してきて間もない方で、もともと環境教育に熱心に関わってきた方なので、GNC の活動にも関心を持ってくれた。来年以降のツアーのコースに入れることに関しては協力してくれることになった。10 時 20 分まで会合。その後、分別工場の見学。工場長以下、現場のスタッフが案内してくれた。なお、この段階でツォゴさんは帰り、それ以降の移動はツォゴさんが「すごくいい人」というタクシーの運転手さんにバトンタッチ。11 時 20 分まで見学。収集段階で分別していないので、工場での分別にはかなり限界がある印象だ。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

ゴミ処分場

ガンバートさん

所長室にて

分別工場

分別工場

工場長、現場スタッフと

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

１３　自然環境省自然保護基金（NCF）会合

【日時】
2014 年 9 月 9 日 12：50～15：00
【場所】
ウランバートル市中心街
【スタッフ】
GNC Japan　代表　宮木いっぺい
GNC Japan　事務局　矢野明子、小川安里
GNC Japan　ネットワーク部　荻原洋子
GNC Japan　教育センター長　ツグトサイハン
【参加者】
金沢大学 3 年生　トゥギー（女性・モンゴル人在日留学生）

NCF（自然環境省自然保護基金）のオフィスに 12 時 50 分に到着。チョルンフーさんも出迎えてくれた。総勢 5 人スタッフ。そのうち 1 人はアメリカに出張中で会えなかったが他の 4 人とは会えた。トップの**スフェさん**は作詞家でもあり、CD や DVD まで出している。僕ら全員に DVD をプレゼントしてくれた。また自分のビルも建設中でなかなかなお金持ち。あとの 3 人は少し年輩の**ガンガーさん**、アメリカ出張から帰国したばかりの**チョルンフーさん**、上品で楚々とした感じの**オトゴンツェツェグさん**。**オトゴンツェツェグさん**は、セレンゲ県で主に活動している植林の専門家。スフェさん、オトゴンツェツェグさん、チョルンフーさんが 8 月に来日した際、矢野さん、小川安里さんが都庁や新宿御苑を案内し、食事もごちそうしたので、そのお礼もあってか僕ら全員昼食に招待された。近くのステーキハウス。そこに入ったのは 13 時 10 分。量も多くおいしかった。みんなビールやアルヒ（モンゴルウォッカ）を飲んだ。リラックスした雰囲気の中でお互いどのような活動をしているのかを紹介しあった。そして GNC と NCF の協力関係についてかなり具体的なところまで話し合うことが出来、親交を深めることができた。とりあえずは、助成申請書類を提出すれば 2 冊目の絵本作成を支援してくれるとのこと。ありがたい話だ。再会を約束して 15 時には店を後にする。

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

左から、オトゴンツェツェグさん、
チョルンフーさん、ガンガーさん

スフェさん

オフィスにて

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.

付録　GNC 教育センター

ウランバートル市の中心から南西に車で 40 分ほどのところ、ハンオール地区トーラ村に位置する GNC の拠点、GNC 教育センターは、農場と宿泊施設から成っています。宿泊する場合は、食材を調達し（買うか収穫するか）自炊します。今回はゲルも設置し、初日の親睦会の場所となりました。今後もスタディツアーの際に、親睦会の場としても宿泊施設としても利用可能です。

GNC 教育センター

食堂・ミーティング室

寝室

シャワー室

ゲルでの初日親睦会

Copyright(c) 特定非営利活動法人 GNC Japan All Rights Reserved.